

クサギ



シソ科 臭木

旧分類クマツツラ科の樹木
葉に独特の匂いがあることが
名前の由来となっています。夏
に白い花が咲いていましたが、
秋は果実の周りの赤い萼が目
立ちます。果実は草木染めに使
用され、藍と並んで数少ない青
系統の色に染まります。民間薬
として茎葉（臭梧桐）がただれ
や皮膚病に、根は利尿、健胃に
用いられていました。

11月に見られる花

マユミ



ニシキギ科 真弓

材は緻密で狂いが少なく、弾力があり
よくしなる枝で弓を作ったことが名
前の由来です。葉は秋にオレンジ色に
紅葉し、果実が熟すと朱赤色の仮種皮
におおわれた種が現れます。全草特に
種子に有毒成分のアルカロイドのエ
ボニン等が含まれ、誤食すると嘔吐、
下痢、悪寒、けいれん等がおきます。
同じニシキギ属のニシキギ、コマユミ
の種子も有毒です。食べるのは小鳥に
まかせて、森の実を眺めて楽しむのが
よさそうですね。

朝晩寒い日が続くようになるこの季節は、花が少なくなります。コウヤボウキ・タデ類
等。樹木では、ゴズイ・ガマズミ・ミツバウツギ・ムラサキシキブなどの実が楽しめます。

